

幼稚園ってどんなところ？

香芝市立幼稚園のスローガン

いきいき・キラキラ・わくわく
笑顔あふれる幼稚園

—幼稚園は＜子どもがはじめて出会う＞学校です—

「生きる力」の基礎は、豊かな遊びと学びから

幼稚園は、幼児教育にかかわる専門機関です。

幼稚園は、家庭という環境から、子どもたちがはじめて出会う集団の場です。
幼児期に必要な様々な体験と幼児期にふさわしい生活を営むことを大切にしています。
また、保護者にとっても自由な語らいの場であり、子育ての支援の場でもあります。



香芝市立幼稚園のめざす子ども像



豊かな感性をもち、
自分の思いをのびのびと
表現する子ども

友だちと仲良く遊び、
やさしさと思いやりの
心をもった子ども

いろいろな遊びに
親しみ、自ら進んで
工夫する子ども

心身共に健康で、
明るく生き生きと
活動する子ども

身近な自然に親しみ、
生命の尊さに気付き
大切にする子ども

香芝市 子ども家庭部 保育幼稚園課

香芝市立幼稚園では

香芝市の子どもたちの未来のために、子ども一人一人を大切にしながら、遊びの中で培った学びの芽を育てています。

★幼稚園教育の基本に基づき「生きる力の基礎」を培います。

- ・ 幼稚園では、幼児一人一人の内面をよく理解し、豊かな遊びと学びから、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を育みます。
- ・ 「明日もいきたい」「幼稚園は楽しいところ」を大切に、さまざまな人とかわりながら自分で考えて行動しようとする力を養います。
- ・ 健やかで柔軟な心や生活に必要な習慣、また、自分の思いや願いを自分の言葉で話したり、感じたことや考えたことを造形や歌・リズムで表現したりなど、「自分でしようとする力」につながります。
- ・ 先生や友だちや周りの人たちとのかかわりを通して、言葉で伝えることの喜びや人を信頼する心、感謝する気持ちややさしい心、社会的ルールを守ることや善悪の判断、我慢する気持ちなどを培います。



○ 香芝市立のこども園・保育所と交流をしています。

幼稚園・こども園・保育所が、共に地域に育つ子どもたちの健やかな成長を願い、就学前の教育・保育について、よりよい保育環境を生み出そうと交流をしています。手をつないでリズム遊びをしたり、園外に出かけたりして、楽しく交流しています。何度か交流するうちに、名前を呼び合っている子どもたちの姿も見受けられるなど、幼稚園・こども園・保育所との友だちの輪がひろがります。



○ 小学校と交流しています。

小学校の「生活科」や「総合的な学習の時間」などで交流しています。一日体験入学も行っています。幼稚園と小学校とはそれぞれの目的の違いを認識した上で、互惠性を求めた連続性と独自性を兼ね備え、関連性をもって自然な姿で児童・幼児に接し教育を行います。



○ 子育て支援のため地域の幼児教育のセンターとしての役割を担っています。

- ◇ 園庭開放・・・・・・・・就園前の子どもたちに園庭を開放しています。
- ◇ 未就園児交流保育・・・親子で遊んだり、幼稚園児と歌をうたったり、リズム遊びをしたりして、楽しく交流保育を行っています。また、幼稚園の行事に招待しています。
- ◇ 子育て相談・・・・・・・・子育てについての相談に応じています。一緒に子育てを考えましょう。
※詳細は各幼稚園にお尋ねいただき、ご遠慮なくお越しください。
- ◇ 預かり保育・・・・・・・・子育て支援の一環として、週3日（月・火・木）実施しています。
※詳細は各幼稚園にお尋ねください。



幼稚園の一日

8:30			12:00		13:00		14:00		16:30
登園する	いろいろな遊びをする	片付ける	クラス全体で遊ぶ	給食 水曜日・弁当	片付ける	いろいろな遊びをする	降園する	預かり保育	



「幼児期」 今 大切なこと

○ やる気を育てましょう

おぼつかない手つきで着替えている子どもを見ていると、「早くしなさい！」とつい手を出したくなりますが、子どもを見守るには少し時間のゆとりが必要です。手順を十分理解できていない子どもに「自分でしなさい！」というのは、無理なことです。それよりも、子どもの前でやり方を示したりして、「あとはできるかな？」と子どもに意欲をもたせたり、できたときは「よくできたね」と認めてあげましょう。小さいステップを積み重ねて、子どものできる範囲を広げてあげることが、やる気を育てることにつながります。

○ 触れ合いを大切に、家族の会話を増やしましょう

家族との会話を増やすことで、家族との絆が深まります。会話をするときは、触れ合いを大切に、子どもの顔を見ながら話しましょう。子どもは、話を聞いてもらうことで、安心して何でも相談できるようになります。幼い時から自分の思いを言葉で伝えたり人の話を聞いたりすることは、コミュニケーション力を育て、子どもの行動に望ましい影響を与えます。

○ あいさつをする習慣をつけましょう

あいさつをすることで、コミュニケーションが増え、人とのつながりができ、人間関係を築く出発点にもなります。大人が子どもの顔を見て、あいさつの見本をみせましょう。
（「ありがとう」「ごめんなさい」「おはよう」「おやすみ」
「いただきます」「ごちそうさま」「さようなら」など）



○ 手伝いをする習慣をつけましょう



手伝いをするすることで、家族との会話が増え、生活体験が豊かになり、生活力や判断力が身に付きます。家族の一員として役割や責任が果たせるように、子どもができそうなこと、身近なこと、興味がありそうなことから行いましょう。お子さんに「お手伝いできた」「役に立った」という喜びを味わわせてあげてください。そして、手伝いの後は、「ありがとう」と言ってほめてあげましょう。

○ 手をつないで幼稚園、おうちの方の温もりが伝わります

長い子育ての中で、お子さんと手をつないで歩ける時期は、本当に限られています。晴れの日ばかりでなく、雨の日も風の日も暑い日もあり本当に大変ですが、手をつないで歩けるこの幼児期を大切にしてください。お子さんに、楽しくおはなしをしてあげましょう。そして、歩きながら信号の見方や横断歩道の渡り方、道路の歩き方などを、その場で繰り返し教えてあげてください。「幼稚園の送迎は大変だったけれどよかった」と思っただく日がきつとくるでしょう。

「親の後ろ姿を見て子は育つ」といいます。子どもは、大人の行動をととてもよく見ています。よいことも悪いことも、丸ごと受け止めて育ちます。お家の皆様方は、子どもたちにとってよいモデルとなりましょう。